

新春チャリティー講演会

東郷幸枝 (有)クリケット



落語家 立川晴の輔氏



2月6日(木)、アクトシティ浜松大ホールにて新春チャリティー講演会が、「笑点」のレギュラーメンバーとして活躍されている落語家立川晴の輔氏をお迎えし、「コンプライアンスの真逆？ 落語立川流の世界」と題して華やかに開催されました。

「ハレルヤ」の軽快な出囃子で、立川晴の輔氏が登場されると、約631名(会員・一般)の皆様から待ってましたと拍手が沸き上がりました。まずは高座から、有名な「寿限無」の落語に晴の輔という名前をいただいた時のお話を絡めながらユーモアたっぷりに語っていただきました。

講演会では「コンプライアンスの真逆？ 落語立川流の世界」という題名どおり、立川流は独裁社会！？と銘打ち、マニュアル重視の現代社会と真逆の世界で修行されたエピソードをふんだんに語っていただきました。お茶ひとつとっても、お茶と言われてから出すのではなく、俺が飲みたいタイミングを察しろと無茶振りする談話師匠、そして相対する弟子たちの奮闘！面白可笑しく語られるエピソードには、指示待ち人間になるな、自分の頭で考えろという厳しい中にも師匠の弟子に対する愛もほんのり感じられ、心に残るお話を惜しみなくご披露いただきました。さらに、笑点に抜擢された理由や笑点メンバーになったことをご家族に話された時のお子さんたちの反応など、生でしか聞けないお話を軽快に語っていただきました。

そして最後は、再び高座に上られ、古典落語の「天狗裁き」を披露してくださいました。すっかり晴の輔氏の世界に引き込まれ、皆様の笑い声、拍手が大きな会場に響いていました。

また当日は大勢の皆様から沢山の寄付を賜り、誠にありがとうございました。募金は両法人会にて全額浜松市社会福祉協議会に寄付させていただきました。



浜松東法人会 荒沢光彦会長と浜松西法人会 辻祥治会長が浜松市社会福祉協議会を訪れ、目録をお渡ししました。



寄付金合計 317,000円
(浜松東 166,000円、浜松西 151,000円)